

北海道

市電での宅配荷物輸送実験

札幌市 3月2日、札幌都心交通研究会は同市内を走る市電を使った宅配便の荷捌き実験を実施。ススキノに代表される同市中心部には物流業者用の専用荷捌きスペースがなく、日中は道路路上での作業が一般化し、交通渋滞の大きな要因に。これを軽減に、かつ共同配送によるエコや宅配業務の効率化、さらには既存交通インフラである市電の収益アップをも探る実験だ。当日はヤマト運輸が参加、宅配便のみを載せた貸切車両を運行し、「電車事業所前」停留所（同市中央区）を出発、「西4丁目」停留所で積まれた荷物を台車3台に載せ替えた。

同研究会は、同市の目抜き通り「札幌大通り」一帯の地域振興を目指す企業「札幌大通まらづくり㈱」が事務局を務め、市やヤマト、佐川急便地域の商業関係者などが参画して設立。すでに昨年10月には市電を使って、ヤマトと佐川が他の物流業者の荷物を代行配達する共同配送実験も継続している。

青森

2つの「塔」が有形文化財に

東通村、南部町 国の文化審議会は3月10日、同県にある2つの「塔」を歴史的価値があると認め、建造物として国の登録有形文化財に指定することを答申、近く正式決定される。

東通村の尻屋塔（しりやさき）灯台、南部町の法光寺承陽塔で、前者は明治9（1876）年に竣工、リチャード・ヘンリー・ブランドン氏（英国）が設計し、全高33mの煉瓦製。明治31（1901）年に日本初の電気回転灯を設置。また第2次大戦末期に米軍機の銃撃で職員が殉職、灯台上部も破壊されるという悲惨な過去も背負う。

一方後者は、昭和24（1949）年に建立、全高33mの木造三重塔でこの種の建築物では全国屈指の高さを誇る。内部には曹洞宗の開祖・道元禅師の遺骨（福井県の大本山永平寺から分骨）が収められている。

岩手

東北初の「日本食普及大使」

花巻市 日本食を海外にPRするため2015年から始まった「日本食普及の親善大使」（農水省主催）の今年の大使（22名）として、同市の日本料理店・新亀屋の加藤綱男社長（79）が任命。東北では初の選出。加藤氏は3月10日に県庁を訪問、達増（たつそ）拓也知事に報告を行なった。なお、加藤氏は県調理師会会長、日本調理師会副会長も務める。

秋田

国産シエールオイルが大きく前進

男鹿市 石油資源開発（本社・東京都千代田区。岡田秀一社長）は、同市の福米沢油田（申川油田群の1つ）で、2014年からシエールオイル産出の実証試験を続けてきたが、一定の手応えを感じたため、2月21日同試験を終了すると発表。本格的な石油産出に向けて大きく前進。

シエールオイルは「女川層」という地層に賦存、主流の「多段フラクチャリング」（水圧破砕法）を用い、2015年2月には産出試験に移行。当初原油の継続的自噴がなかったものの人工採収法で自噴継続が確認。

山形

米沢牛が国のお墨付きを獲得

山形県 ブランド牛として著名な同県南部置賜地方の「米沢牛」が、3月3日、国の地理的表示保護制度（GI制度）に登録。置賜地方の3市5町（米沢市、南陽市、長井市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町）で肥育された黒毛和牛が大前提で、さらに生後32カ月以上の未經産の雌牛で日本食肉格付協会が3等級以上と認定など、条件は厳しい。

宮城

政宗生誕450年のロゴ完成

宮城県 今年は伊達政宗の生誕450年に当たる。そこで県は一大キャンペーンを企画、観光PR用の記念のロゴマーク2種を作成。

マスクット・キャラクター「むすび丸」と、政宗の肖像をデザインしたものの。指定の申請書を県に提出、OKが出れば商業目的を含め基本的に無料で利用可能。

ちなみに前者は、政宗が合戦の際に愛用した「紺地に金の丸」の旗をモチーフ。また後者は県職員自らが作成。

福島

ヤフーがデータセンター増強

白河市 ネット検索サイト大手のヤフー（本社・東京都千代田区。宮坂学社長）は、同社のグループ企業でデータセンター（IDC）運営のIDCフロンティア（本社・東京都千代田区。石田誠司社長）は、3月1日同市に環境対応型の大規模IDC施設「白河データセンター」に5号棟の建設を開始。面積約3200㎡、収容能力は約1400ラックで、完成は2018年3月末の予定。同センターはヤフーにとって東日本地域最大のIDC拠点で、いわばクラウドの中核。需要に応じて棟を増築できるジュール方式のため、8棟まで増設できる。すでに隣接地約2

万1300㎡を2016年11月に購入、将来の増設にも備えている。

栃木

歴代の宇都宮市庁舎をCG再現

宇都宮市 同市は2016年に市制120周年を迎えたが、これを記念して、同市の作新学園大学と文星芸術大学は、歴代の同市市庁舎の再現CGを共同作成、イラスト3点とそのデジタル・データを市に寄贈。2月27日、佐藤栄一市長が両大学に感謝状を授与した。

2016年5月に両大学が「教育・



CGで再現した初代宇都宮市庁舎(1986～1910年。宇都宮市)

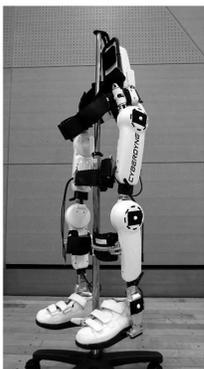
研究の充実活性化及び地域福祉向上を目的とした連携協定」を締結、これに基づき教材として制作されたものの。

茨城

県内初のHALを使った治療

阿見町 同町の県立医療大学付属病院（リハビリ専門病院）で、今年1月から、ロボットスーツ「HAL[®]医療用下肢タイプ」を使った神経・筋難病治療をスタート。公的医療保険を適用した「HAL[®]医療用」での治療は県内初。

「HAL[®]」はサイバーダイン社（本社・つくば市。山海嘉之社長）が開発したサイボーグ型のロボットスーツで、神経・筋難病指定の筋ジストロフィーなど8疾患の治療に使用。同装置を装着、歩行運動を支援することで歩行機能改善効果が臨床試験で証明されたことから、昨年



「HAL[®]」

公的医療保険の適用が認可されている。

群馬

県内の古墳は1万3249基！

群馬県 県教育委員会と県埋蔵文化財調査事業団が2012年から進めて来た県内の古墳数把握調査が、このほど終了、3月4日記念式典を開催。昭和10（1935）年の前回調査（8423基）に比べ、確認された古墳数は1万3249基と大幅アップ。

千葉

いすみ鉄道で「花電車」出発！

大多喜町 いすみ鉄道（本社・同町。鳥塚亮社長）は、3月10日から毎週金曜日（休日除く）の夜に臨時列車（大多喜⇄大原間往復）を発売。名付けて「花金列車」で、JRのダイヤ改正に合わせてアクセス性に配慮、東京駅午後9時発のJR東日本特急「わかしお21号」が大原駅に到着するのに合わせているのが目玉。収益性第一よりも地域住民の利便性を考えた試みとして注目されている。

埼玉

ランナー向け施設を大幅拡充

さいたま市 3月4日、同市南区の別所沼公園内の別所沼会館にジョギング愛好家のための「ランニングステーション」が旗揚げ。

もともと地方職員共済組合県支部による県職員向けの福利厚生施設で、シャワー・更衣室やコインロッカーなどを新たに配置。利用料は前者が300円だが、館内レストランでランチを注文すれば無料。また後者は小型100円、大型200円。2020年の東京五輪を盛り上げる一環でもある。

東京

大和ハウスが高尾に巨大商業施設

八王子市 3月8日、大和ハウス工業（本社・大阪市北区。大野直竹社長）は、同市JR高尾駅付近に建設中の大型ショッピング施設を6月22日にオープンすると発表。

施設名は「iias（イーアス）高尾」で、敷地面積は約6万4000㎡、地上3階建ての建物に、ス

パーや飲食店、電器店、家具店、スポーツクラブなど約120店舗が入居予定で、年間220億円の売り上げを見込む。同社は高尾駅周辺で大規模開発「高尾サクラシティ」を推進中で、同ショッピングセンターはその中核施設。

神奈川

第三京浜と湾岸線が直結！

横浜市 3月18日、首都高速道路（本社東京都千代田区。宮田年耕社長）が建設を進めていた横浜北線（横羽線・第三京浜間約8・2km）が開通。市街地を縦断するため大半をトンネルで構成、既存の首都高黒線が同横羽線を抜け横浜西北部へと延伸する格好となるため、港北地区、羽田空港のアクセスが既存の40分から30分へと短縮することが見込まれている。

加えて横浜港や京浜工業地帯、横浜都心への新たな物流ルートとしても大いに注目されている。

新潟

創業1世紀超の料亭がスクラム

上越市 3月7日、全国の創業100年超の超老舗料亭18店が参画、訪日外国人の増加や2020年の東京五輪を念頭に和食文化の魅力発信、観光客誘致にもひと役買おうとスクラム。「百年料亭ネットワーク」が旗揚げ、同市で設立式を開いた。発起人は同市の「宇喜世」の大島誠社長（56）で初代事務局長に就任。同会設立に際しては同市が国の地方創生枠から200万円を助成、今後は老舗料亭の共通の悩みでもある老朽建物の修繕への助成金の「受け皿」になることも目指す。

山梨

雲取山2017mを祝す日本酒

丹波山村 同村のシンボル、雲取山の標高が今年と同じ2017mであることにちなみ、同村の村地域おこし協力隊員、山田正和氏（51）が日本酒「雲取山」と焼酎「雲取焼酎」を2月に正式商品化して発売。

製造には「澤之井」ブランドで著名な小沢酒造（本社・東京都青梅市。小澤順一郎社長）が全面協力、同村の「道の駅たはやま」など同村限定で年末まで販売。

静岡

静岡市消防団カラーガード隊

静岡市 同市消防団のPR活動を彩るカラーガード隊「シズオカ・レッド・ヴィガー・ユナイテッド」が昨年11月に結成されたが、その初披露が市消防音楽隊の第3回定期演奏会で行なわれた。

メンバーは同市の常葉大のチアリーダー部員を中心に15名で結成され、もちろん彼女らも消防団員。音楽隊の演奏に合わせて華やかな旗振り行進を演じた。



「シズオカ。レッド・ヴィガー・ユナイテッド」（静岡市）

長野

ドローンによる輸送試験

伊那市 3月3日、国交省は同市でドローン（無人小型飛行機）を使った商品運搬の実用試験を実施。同市は山間部の過疎地対策としてドローン利用の研究に積極的であることから同省は協力を依頼、同市長谷地区の高齢者専用住宅の周辺で試験を実施。同省は2018年の実用化を目指し、将来的には運輸業者の操縦が無用な自立型のドローン配送を想定、今回は初めて着陸地点が黙視できない場所からの離陸を実施した。

岐阜

名鉄が「信長電車」を発進！

岐阜市 1567年に織田信長が入城、「岐阜」と命名してから今年で450年。これにちなみ同市は「信長450プロジェクト」を展開しているが、その一環として3月6日から名鉄でアニメキヤア風の信長などをあしらったラッピング電車を走らせている。大垣女子短大デザイン美術学科の学生が原案を制作、名古

屋本線を中心に11月12日まで運行。

愛知

「名古屋コーチンの日」の初催事

小牧市 昨春秋、一般社団法人「日本記念日協会」は、明治期に国産第1号の実用品種の鶏として「名古屋コーチン」が登録された日を記し「3月10日」を記念日に認定。これを受けて3月9、10の両日、発祥の地である同市や同市商工会議所、市観光協会は、同市の商業施設「ラピオ」で鶏肉、鶏卵、加工食品などの展示即売会を初実施。また養鶏業のタックキーフーズ（本社・同市。小出友則社長）も、名古屋コーチンの肉400kg・約1万2000食分）を市立小中学校25校の給食用に贈呈した。

富山

「釈迦三尊像」のデジタル複製

高岡市、南砺市 銅器や鋳物、仏具の伝統工芸で名高い両市と東京芸大などは、共同で奈良の・法隆寺の国宝「釈迦三尊像」（7世紀に製作）の完全デジタル複製版の作成に挑戦していたが、このほど完成。3月10

20日高岡市の「ウイング・ウイング高岡」で「法隆寺再現釈迦三尊像展」と題した展示会を開催。

国の地方創生の交付金6900万円の資金と1年4カ月の制作日数をかけた力作で、法隆寺の全面協力のもと、同大学3D測定したデータを使い3Dプリンターで樹脂製の型を制作。これを基に今度は高岡の鋳物メーカーが原寸大の像を作成。使用した銅合金は実物と同じ配合、木製台座の「宣字座」に関しては彫刻職人が腕を振るい、さらに1400年の時の流れも忠実に再現、同大学が表面処理による「汚し」も実施。

石川

オリックスが金沢に大型ホテル

金沢市 3月24日、オリックスグループ（本社・東京都港区。井上亮社長）は、同市との間で、JR金沢駅西の市所有地に対する市有財産売却の仮契約を締結。同地の再開発に關して同市は「インターナショナルブランドホテル事業」の誘致を計画。公募型プロポーザルを行ない、昨年同社が優先交渉権を獲得しており、いよいよ実現に向けて大きく動く。

敷地は現在、暫定駐車場として利用されている約7400㎡で、ここに同社は「ハイアットセントリック」ブランドの高級ホテルと、ハイアット系ブランドの中長期滞在型宿泊施設の2棟（15〜17回建て）を建てる計画で2020年開業を目指す。なお、買収額は約22億6000万円。今後、9月議会の承認を得た後本契約を結ぶ。

福井

宅配ボックスの効果が歴然

あらわ市 同市はパナソニック（本社・大阪市門真市。津賀一宏社長）のエコソリューションズ社と共同で、昨年12月から「宅配ボックス実証試験」を本格実施。同月1カ月分のアンケート集計がまとまり2月24日中間報告を発表。モニター数は103世帯で、宅配ボックス設置で宅配便の再配達率は導入前の49%から8%に減少、宅配業者の労働時間を約66時間、CO2換算で約135・7kgの削減に相当。試験は今年3月末まで継続、4月の最終報告では再配達率8%前後、再配達削減回数700回以上を削減と想定する。

三重

新型の絶叫マシン「長島」に出現

桑名市 3月10日、同市にある日本屈指の大型テーマパーク「ナガシマスパワールド」(経営母体・長島観光開発。本社・同市。水野正信社長)は、日本初、世界で3番目のジェットコースター「4Dスピコンコースター嵐(ARASHI)」をリリース。最大地上34m、全長310m、最高時速64kmで、席は宙吊り、予測できない回転をしながら約60秒走破し、最大3Gの重圧がかかるのが特徴。料金は1000円(のりものパスポートで利用可)。



「4Dスピコンコースター嵐 (ARASHI)」(長島観光開発)

奈良

太陽光発電推進でダブル受賞

生駒市 同市の市民組織「市民エネルギー生駒」は、同組織が手掛ける太陽光発電によるエコ活動が評価され、環境省の第4回グッドライフアワードで、2位に相当する「環境大臣賞優秀賞」、さらに経産省後援の新エネ大賞で、3位に相当する「新エネルギー財団会長賞」のダブル受賞の快挙を達成。2月23日同市の小紫雅史市長に受賞報告のため代表らが市役所を訪問。同組織は2014年に設立。公共施設の屋上など利用し太陽光パネル3基を設置(出力計167kw)、発生した電力を売電し、さらにその収益を福祉施設に寄付する活動を続けている。

滋賀

平和堂が50周年記念の酒

彦根市 滋賀を中心に関西・北陸・中京地区で約150店舗を展開するスーパー平和堂(本社・同市。夏原平和社長)は、創業60周年を祝した純米大吟醸「平次郎」を2月23日か

らグループ店舗で特別販売。

創業者の夏原平次郎氏(1919-2010)にちなんだもので、参考税込価格は2787円(1・8ℓ)。

京都

琵琶湖疏水上り船の試験運航

京都市 同市は滋賀県大津市と共に進める琵琶湖疏水観光船事業で、上り便(遡上)の事業化に向け、4月1-9日に試験運航を行なうことを決定。すでに1日5回の下り便はあるが、回送扱いだった上り便にも乗客を乗せ収益性アップを図るのが狙い。今年度には新型船を建造、2018年度の本格実施を目指す。定員は4人で、安全を期すため下り便より2人少ない。また総てツアーに組み込む模様で、JTB国内旅行企画、JR東海ツアーズ、京阪バス、府旅行業協同組合、日本旅行、びわ湖大津観光協会の6者が担当。

大阪

スマホで百舌鳥古墳群を鳥瞰

堺市 同市とNIT西日本(本社・大阪市中央区。村尾和俊社長)と共に

同で、スマホを使って同市の百舌鳥

(もず)古墳群の「上空散歩」を楽しめる特設ボードを作成、3月31-20日に公開。ボードは市役所展望ロビーとさかい利品の柱に設置された。両者が締結したICT(情報通信技術)の包括連携協定の一環で、百舌鳥・古市墳群の世界文化遺産登録推進を盛り上げる狙いも。

スマホに表示される画像(2種類)を、鏡付き小箱を通じて見ると、3D映像が浮かび上がる仕掛け。高さ2m、幅1・8mのボードには映像を再生するスマホが組み込まれており、ロボット鳥「もず」が案内する古墳群を90秒間鳥瞰できる。

和歌山

放流水の水力発電が新エネ大賞

有田川町 2月15日、同町の県営県営二川ダムが2016年度の「新エネ大賞」(一般財団法人新エネルギー財団主催)の最高賞に次ぐ「シゲンエネルギー長官賞」を受賞、東京で表彰式が行なわれた。同賞受賞は県内の自治体・企業では初の快挙。決め手は、ダムの放流水を使った小水力発電のアイデア。下流の有田

川の流量を維持するために定期的に放流される水力を活用したものの「町営二川小水力発電所」と呼ばれ昨年2月に稼働。発電量は120万W時で一般家庭約300世帯分に相当。電力は関西電力に売電、利益は毎月400万円にも達する。

兵庫

「鳴門の渦潮」を見事に再現

南あわじ市 3月18日、同市の「うずしお科学館」(うずの丘大鳴門橋記念館1階)のリニューアル工事が完了、名物「鳴門の渦潮」が大型模型で再現された。模型は縦約5m、横約10mで鳴門海峡周辺を2000分の1で忠実に再現。リニューアル全体の工事費は約1億8000万円。

岡山

九州のナチュラルD、ザグザグを子会社化

岡山市 県内を中心に中国・四国でドラッグストア(DS)を展開するザグザグ(本社・同市中区)は2月21日、九州を基盤とする同業の「ドラッグストアモリ」の親会社、ナチュラルホールディングス(本社・福

岡県朝倉市。森信社長)の傘下に入った。

ザグザグのオーナーだった藤井孝洋氏(73)の後継者がいないことが最大の理由。M&A後、ザグザグの社長に森氏が就任、藤井氏は会長に退いた。これでナチュラルはグループ350店舗の規模となり、西日本屈指のDSチェーンに躍り出る。なお、両社のブランドや社員は維持する方針で、業務統合による物流の効率化を目指す。

広島

朝鮮通信使船を再現

福山市 室町〜江戸時代を中心に朝鮮王朝が日本へ派遣した外交使節団「朝鮮通信使」が使用した船を再現した市営渡船が、3月11、12日の両日、同市で開催された日韓交流イベントのPRのため、通信使の寄港地だった同市の柄の浦・仙酔島で2月24日〜3月10日に限定運行。

なお通信使は、日韓両国の団体がユネスコの世界記憶遺産に共同申請中で、当運行も登録活動の一環。

鳥取

青谷上寺地遺跡で新たな出土物

鳥取市 弥生時代前期〜古墳時代前期初めに存在し、中国との海上交易拠点と推測されて来た同市の青谷上寺地遺跡から、当時の港湾跡を示唆する木材などが大量に発掘。これらで港湾の遺構は皆無だっただけに、県教委は詳細な年代測定とともに、周辺のボーリング調査も継続。資料の大幅見直しを行なう。

島根

一畑電車3000系が引退

出雲市 同県東部のローカル鉄道一畑電車(本社・出雲市。吉田伸司社長)で愛され続けた、同社最古の現役車両「3000系」を新型車両の導入に伴い1月22日で退役。ラストランでは「さよなら運行」ダイヤを組み、最終の松江しんじ湖温泉〜雲州平田便には多くの鉄道ファンが詰めかけた。同車両は元南海電鉄の「ズームカー」で、4編成計8両が活躍したが、8年ぶりの新車両投入を機に、全車両引退となった。

山口

萩・明倫学舎がオープン

萩市 萩藩校明倫館の跡地で、旧明倫小学校の校舎を活用した観光施設「萩・明倫学舎」が3月4日オープン。萩藩校は、享保3(1718)年、5代藩主毛利跨吉元が家臣の子弟教育用に建設。広大な敷地に学舎や武芸修練場、練兵場を配し吉田松陰も教鞭を取った。同館の「世界遺産ビジターセンター」には松下村塾関連の資料も多数収蔵、年間10万人の入場者を目指す。



惜しまれつつ引退した「3000系」(一畑電車)

香川

屋島ドライブウェイ無料化

高松市 同市は屋島山上への有料道路「屋島ドライブウェイ」を2017年度中に無料化する方針。昨年試験的に無料化した結果、利用車が4割ほどアップ、地域活性化にプラスだったことを受けた措置だ。今後道路施設や駐車場の整備、歩道・車道分離措置の予算として10億円を計上し整備を図る。

愛媛

いよかんの白いもちっとパン

愛媛県 ファミリーマート(本社)



「愛媛県産いよかんの白いもちっとパン」(ファミリーマート)

東京都豊島区。澤田貴司社長)は、同社の女性社員によるプロジェクトチーム「四国デイナーイン」を結成。その第1弾の開発商品として、「愛媛県産いよかんの白いもちっとパン」を完成させ、2月28日から中国・四国を中心に同社店舗などで発売。「四国特産で女性に人気」というコンセプト。

パンでは珍しく、「いよかんピール」と「いよかんの果汁入りクリーム」を使用、昨年9月から約5カ月かけて完成させた力作。1個税抜き110円。

高知

くろしお鉄道の通販ショップ

四万十市 土佐くろしお鉄道(本社)・同市。大原充雄社長)が、自社のオリジナル企画きつぷや古い駅名札など、「お宝」商品を扱うオンラインストア「Kuro-kuro web store」を2月20日開設。高知県主催のイベント「志国高知 幕末維新博」開催に合わせて「幕末維新博 安芸・室戸フリーきつぷ」「幕末維新博 中村・宿毛線フリーきつぷ」も発売。

徳島

徳島空港が開港して半世紀

松茂町 徳島阿波おどり空港が2月15日、開港50周年を達成。空港ではマスコットの「すだちくん」が乗客を出迎えた他、名産の藍染めタオルハンカチを無料配布。

同県は国際線増便を目指し、ターミナルビルを増築、今年度中に搭乗橋の増設や検疫・入国審査場の整備も行う見込みだ。



徳島阿波おどり空港50周年を祝う「すだちくん」(同空港)

福岡

大規模洋上風力発電業者決定

北九州市 九州電力の子会社や西

佐賀

三重津海軍所跡に大型建跡

佐賀市 同市教委は、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の1つである三重津海軍所跡の発掘調査で、大型建物の跡を発見。建物は全長約47m以上で、幕末に佐賀藩が蒸気船建造に使用する材木貯蔵小屋の可能性が高いという。

長崎

HTBのVR館がオープン

佐世保市 同市のハウステンボス(HTB)。本社(同市。澤田秀雄社長)は、3月18日、世界初のメリーゴーランドでVR(仮想現実)を体験できるアトラクション、「VR DRAGON WORLD TOUR」をオープン。利用者は専用ゴーグルを



〔VR DRAGON WORLD TOUR〕(HTB)

着用してメリーゴーランドに乗り、360度の仮想現実体験と、独特の浮遊感を同時体験。24種のコントラクトを用意。

大分

温泉の経済効果は1200億円

大分県 大銀経済経営研究所(本社:大分市 杵掛正幸社長)はこのほど、同県の温泉力を分析した「おおい温泉白書リポート」を発表、観光に与える温泉の経済波及効果を

1236億円と試算。2014年の同県の観光客数は1674万人で観光消費額は1483億円。内約6割が温泉目的で、県内総生産に占める比率は1.5%。農業生産の比率とほぼ同じだと言う。

熊本

米作りを日本遺産に

菊池、山鹿、玉名各市、和水町中世の菊池一族の活躍や古代の装飾古墳群、近世のコメの生産、流通な

どの豊富な文化資源と歴史を、「今昔『水稲』物語」という物語に仕立て、「日本遺産」に申請。認定されれば、案内板設置やガイド育成、多言語のホームページ作成などの費用補助が受けられる。今後は、地域の歴史的経緯や伝承、風習を踏まえたストーリーを練り上げて、今年度中の認定を目指す。

宮崎

「道の駅えびの」が1位

えびの市 「JAF会員が選ぶ、あなたのイチオシ道の駅、グランプリ2016」で、同市の「道の駅えびの」が1139票を獲得し1位に。同道の駅は鹿児島、熊本、宮崎の3県が交差する九州自動車道えびのインター近くという利便性と、バイクングを手頃な価格で、しかも霧島連山の絶景を眺めながら楽しめる点が評価された。

鹿児島

「薩州正宗」40年ぶり復活

鹿児島市 焼酎の出荷量全国2位を誇る同県で、約40年ぶりに日本酒



〔薩州正宗〕(浜田酒造)

「薩州正宗」が醸造。「焼酎の口直しに飲む日本酒」がコンセプト。

南九州に広がるシラス台地は稲作に適さないが、同県いちき串木野市の焼酎メーカー、浜田酒造グループの金山蔵が、日本酒造りのノウハウを焼酎の品質向上に応用するため復活。精米歩合70%の国産米を地元・冠岳の伏流水で仕込んだ。価格2840円(1・8ℓ。税込)

沖縄

ふるさと納税はユニフォーム

浦添市 同市は、ふるさと納税の返礼品として東京ヤクルトスワローズのレプリカユニフォームを追加。毎年2月に同球団は春季キャンプを同市の市民球場で行なっているが、この見学者を増やし地域活性につなげるのが目的。同市は昨年7月から寄付金の使い道として同球団の応援事業を追加、春季キャンプなどへの支援や市民球場の整備に活用される。